

ちょいワルオヤジの諸国漫遊記

第六回 2025 年夏 繁栄の象徴

大和川 一路



名古屋駅前からミッドランドスクウェアを見上げた時は、これぞ「繁栄の象徴」と感じたことを覚えている。地下から上層部に吹き抜けて、一階には最高級のレクサスが展示され、お洒落な雰囲気の中、試乗も躊躇するほど名古屋があか抜け過ぎて、気恥ずかしい感じがしたものだ。

長い間、「名古屋飛ばし」をされてきて、コンサートや美術展はみんな福岡に行ってしまう。

「田舎はこんなものか、田舎はいかんなあ、福岡は羨ましいなあ」と感じていた。

味噌カツ、きしめん、エビフライに手羽先は大名古屋の B 級グルメとの思いが強く、何故ならば、大とは大いなる田舎という意味でビッグではないのです。タモリにエビフライと小馬鹿にされて、名古屋人にしか分からない無限自虐から脱することができたのは、2006 年このランドマークが出来たからかもしれません。



福岡では天神ビッグバンで「ONE FUKUOKA」が立ち上がった。どんな威容なのかとワクワク感を抱えて、すぐさま見物に行ったのだが拍子抜け。ギュウギュウ詰めの箱弁当、天井の低い圧迫空間だった。商業スペースはテナントで一杯なのだが、オフィスエリアは満室発射できなかったそうで、これでは福岡の爆発はどこにある。

高さ規制は承知しているが、地場の商業資本が小さいからか、工業資本との違いが出たのか、コンパクトシティにビッグバンと云うプロジェクト名が不釣り合いなのかもしれません。建替えだけでは不十分、どうせやるなら「やっちゃえ福岡」の勢いでコンパクトを追及し、天神と空港と港と博多駅を結ぶ地下リニア瞬間移動線でも造ったら喝采を浴びるのではと子供のように考えた。費用対効果の計算も大事だが「そこに夢はあるか」ですね。熊本には TSMC が進出し、台湾の関連企業の「日月光投資控股」は北九州、「家登精密工業」は久留米へとメーカーは福岡市には寄ってこない。名古屋ではリニアの新駅が完成まじか。福岡飛ばしにならないように、熊本が半導体ならば福岡は超電導で命運を掛けたらどうでしょう。福岡がターミナルにならないことを祈ります。ターミナルって人生の終着駅って意味合いがあるそうです。

台湾旅行でお世話になった鄭さんから「7月に家族六人で福岡と熊本に行きます」と連絡があった。今度はこちらがおもてなしの準備をせねばならない。

鄭さんは会社勤めを終えてから自転車仲間を引き連れて、北海道の最北端、富士山麓、しまなみ海道など大好きな日本を自転車で回っている。私の歴史旅とは趣向が違うが異国での大自然の楽しみ方はヨーロッパ風で、チマチマ感が無くて羨ましくもあります。

一度、京都の円山公園で落ち合って清水寺を案内したり、どっぷり文化堪能の時もありました。七十代の彼らは程よく日本語が話すことができ、意思の疎通に気遣いは要らない。ただホストが全部奢るといふ文化の違いで、京懐石の支払いがいくらになるのかとても気にかかったことを覚えています。

近場の旅は二泊か三泊が普通だが、鄭さんたちは十日から二週間は滞在する。九州一周も考えていたそうで、それはコロナで延期となってしまう、今度が初めての九州です。

家族六人で来るなんて、それも三世代で女性が四人。自転車仲間とばかり遊んでいるから奥様に怒られたかもしれない。熊本にも行くのは孫たちが半導体関連に就職する下見かもしれない。台湾への軍事進攻の不安を感じているのかもしれない。



さて、福岡のどこに案内したら喜んでもらえるやら。

床屋のお兄ちゃんは「福岡はないんですねえ、食べ物しか…」やっぱりそうだ、大宰府しか思いつかない。

むかし台湾に出張した時に、いきなり『小人国』に連れていかれて、紫禁城と思われるところで記念撮影をした。世界の有名どころがミニチュアで作ってあり、万里の小城も俯瞰できてガリバーになったような、洒落な計らいを今も覚えています。

また、冬の花蓮の温泉は日本の露天風呂とはかけ離れ、個室の黒くて大きな石の湯舟は空っぽで、お湯を自分で入れるのだから湯が溜まるのにも時間がかかり、冷えた体を湯舟の底にヤモリのように張りつけていた。外国人が日本の露天の温泉に極楽、極楽と感ずるのは、異国での体験でよく分かった。

屋台は夜、福岡城に天守閣はないし、夕方には熊本に行ってしまうし、どうしよう。

「博多旧市街の承天寺、中洲で飾り山笠、もつ鍋はどうかあ」

「あのね、飾り山笠は15日には解体されて、もうないわよ」

「金印公園と防塁跡と大宰府、昼は鉄鍋餃子」

「あのね、自分目線の硬直ジジイだよ。九州に来るのよ。台湾で旺萊山って美味しいパイナップルケーキ勧められたでしょうが。旅のよき記憶は美味しいと連動してるのよ」

「たまには良いこと云うね、ナイス！ 新聞でシュガーロードの記事を見てね、長崎から福岡・小倉への街道に菓子店がいっぱいあって、台湾からもたらされた砂糖に起因するんだって。日台友好を兼ねて、美味しんぼでもやってみるか」

「なにがナイスだ、シュガーロードだ。福岡市にそんな街道は通っていないし、日台友

好だああ。大きな事云ってみたり、もう噛み千切ってやりたいよ」

いつもの恐ろしい人がそう云うが、シュガーロードで福岡での謎が解けました。

田川に住んでいる友人が「飯塚に良い卵がある」と、わざわざ買いに行っていた。

東京のひよこと福岡のひよこ、真似をしたのはどちらだろう。

佐世保や小倉競馬までドライブするとまんじゅう屋さんがやたらと目についた。

それらがみんな解明出来ました。

シュガーロードは「砂糖文化を広めた長崎街道」として、2020年6月に日本遺産に登録された。南蛮貿易で出島に砂糖が入って来て江戸まで運ぶ。長崎―諫早―大村―嬉野―小城―佐賀―飯塚―小倉がそのルート。黒田藩の筑前六宿のひとつが飯塚宿で、明治から炭鉱で栄えて、芝居小屋で甘いお菓子を楽しんだ。今残るのは嘉穂劇場のひとつだけ。

それで、千鳥饅頭もなんばん往来もひよこも飯塚が発祥で、ひよこ本舗の三代目が東京に進出したそう。飯塚ではもともと養鶏業が盛んで、「卵が先か砂糖が先か」で悩むことでもなくて、「鶏が先でひよこは後」のようである。

鶏卵素麺ってご存じですか？揖保乃糸や島原手延素麺とはカテゴリーが違います。承天寺で饅頭の勉強をしてから、「松屋のケイランソーメン」を探してみてください。

台湾人であることを意識せずに鄭さんとお付き合いをしてきたが、朝鮮半島に負けず劣らず苦難の歴史を本省人として過ごしてきた。国連から追放されて「世界の孤児」となってしまう、総統が直接選挙で選ばれたのは、1996年の李登輝さんが初めてである。経済で生き残る決意をして台湾の守り神 TSMC が誕生し、190 か国と貿易をしているそうである。2024年の台湾の人口は2,300万人、訪日者は420万人といかに親日国かと分かる。

韓国の新政権は「実用外交」を標榜しているが、「貴方と私は実用的友情関係ね」なんて云われたら日本人は引いてしまう。韓国の友人ができなかったのは根っこにそれがあったのかもしれない。鄭さんは過去をのみ込んで、はや30年近く打算のないお付き合いができている。



第7代台湾総督の明石元二郎氏は福岡市の出身で、日本統治下の台湾でインフラ整備の道を開き、日台友好の礎を築いた。と新聞に書いてあった。どんな評価なのか鄭さんに聞いてみよう。台湾で心に残るのは中正紀念堂の佇まい。じゃあ博多ではと問うてみたら、川崎幸子さんの博多人形の凛とした姿が思い浮かんできた。

「おい小坊主。おもてなしは考えたのか」

「コンパクト観光。櫛田神社、博多人形、博多町家ふるさと館、川端商店街、リバレイン」

「それって、ボランティアが毎日やってる【博多街歩き無料ツアー】と同じじゃないの！」